

しゃきよう おおいそ 新年号

しゃきよう
社協とは社会福祉協議会の略です

No. 130 2018 Jan

社会福祉 法人 大磯町社会福祉協議会

〒255-0003
大磯町大磯1352番地の1
大磯町立福祉センターさざれ石内
電話 0463-61-9390
FAX 0463-61-7614
URL <http://www.oiso-shakyo.jp/>



ボランティア交流会を 開催しました!

平成29年11月7日、「ボランティア交流会」を開催しました。今年度は各ボランティア団体から多くの皆さまが参加され、国会議事堂、柴又帝釈天、鳩山会館などを見学しました。皆さん交流を深めながら一日を楽しみました。

年頭のごあいさつ

大磯町社会福祉協議会

会長 竹内 京三



新年あけましておめでとうございます。輝かしい新春をお迎えのこ

ととお慶び申し上げます。

日頃より、社会福祉協議会のさまざまな事業の推進にあたり、ひとかたならぬ地域の皆さまの温かいご賛同を賜り、心より感謝申し上げます。

大磯町社会福祉協議会では、平成28年11月、福祉センター隣地に「地域センターまんてん」を開設し、「まんてん食堂」としてカレーやお惣菜の提供、また、カフェとしてのご利用、「こども食堂」など、皆様に親しんでいただける地域づくりを目指しております。今後ともよろしくお願いいたします。

本年も、地域の皆さまが安心して暮らせるよう、「ささえあい、こころのふれあいまちづくり」を目指し、役員一同、一層努力してまいります。引き続き、皆様のご支援ご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

最後になりますが、地域の皆さまが多幸の一年になりますよう、ご健勝と更なるご活躍を祈願いたします。

「第28回大磯町社会福祉大会」が開催されました

大磯町社会福祉協議会は、10月21日(土)、第28回大磯町社会福祉大会を開催しました。式典では福祉功労者の表彰や大磯町福祉作文コンクールの受賞者の表彰が行われました。また、当日のプログラムについては、実行委員会で検討をすすめてまいりました。今年はやむを得ず雨の中での開催でしたが、沢山の方においでいただきました。お足もとの悪い中、ご来場いただいた方、ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。

福祉作文コンクール入選者

町内の小中学生 26 名が応募。
7 名が入選に輝きました。

小学校の部

敬称略

大磯町社会福祉協議会長賞

『私の大切な家族「オーク」』

大磯小学校 5年 田中 咲 恵

神奈川県共同募金会大磯町支会長賞

『がんばればできる』

大磯小学校 3年 萩村 明希穂

佳 作

『明るい未来へ』

大磯小学校 5年 折山 百花

中学校の部

敬称略

大磯町社会福祉協議会長賞

『今、私にできること』

大磯中学校 3年 榎本 みそら

神奈川県共同募金会大磯町支会長賞

『障がい者は不幸の元なのか?』

国府中学校 2年 石井 奈 菜

佳 作

『助け合う事』

大磯中学校 3年 貝戸 莉子

佳 作

『一歩手前』

大磯中学校 3年 竹内 航



福祉活動功労者の表彰

今年は、12名の表彰をいたしました。

表 彰

■永年にわたり社会福祉活動の発展に寄与されました
敬称略 順不同

山田 操・安藤 憲和

露木 功

■永年にわたりボランティア活動を通じ社会福祉の発展に寄与されました
敬称略 順不同

仲川 元秋・越塚 一子

飯田 トヨ子・中村 久美子

蒲原 由美・二見 恵子

庄司 典子・近藤 京子

蔦木 美津江



平成29年度神奈川県福祉作文コンクールで 3篇が入選しました!!

本年度は神奈川県内の小・中学校あわせて275校9,621篇の作品の中から、

田中 咲恵さん(大磯小)の「私の大切な家族「オーク」」が優秀賞

石井 奈菜さん(国府中)の「障がい者は不幸の元なのか？」が準優秀賞

榎本みそらさん(大磯中)の「今、私にできること」が準優秀賞

を受賞されました。おめでとうございます！

「第28回大磯町社会福祉大会」のようす



雨の中沢山の皆さまにおいでいただきました。ありがとうございました。

屋外会場では出店・展示を行いました



大磯町社会福祉大会



アトラクションにて大磯小学校合唱団、ドルフィン＆ブルーエコー(シニア合唱団)に演奏していただきました。素敵な歌声、ありがとうございました。



地域センターまんでんもお披露目し、皆さんに休憩の場として使用していただきました。

福祉作文コンクール

大磯町社会福祉協議会会長賞 作品紹介

私の大切な家族「オーク」

大磯小学校五年 田中 咲恵

私は、パピーウオーカーという盲導犬ボランティアをやっています。わが家の子犬は、ラブラドル・レトリバーという犬種で、名前は「オーク」です。

「グイール」という映画を見て、家族みんな興味がわき、静岡の富士ハーネスという場所ですぐに盲者と盲導犬が歩いているのを見に行きました。盲者の人に、仕事で、犬にさわったり、声をかけたりしてはいけなくて教えてもらい、お母さんと「知らない犬はね」と話しました。ラブラドル・レトリバーがすごく大きくて、ぬいぐるみみたいで抱きすぎたくなりました。

オークが、来た日あまりにもかわいくて、小さくて、妹とどっちが抱っこするかでもめました。初めは、おしっこやんちをトイレサクルの中でさせるのがむずかしかったです。人間さらいになっではいけないので、ちがう場所でもおこつてはいけなから無言でおしっこやんちをかたづけるのが大変です。今は散歩中、外でうんちやおしっこをしてはいけなくて、トレーニンングがむずかしいです。盲導犬は、他犬と遊んではいけないルールがあります。

目の不自由な人を助ける犬なのでお仕事中は他犬と遊んでしまうと興味がわいてしまい仕事にならないからです。だから私は毎日オークと遊んでいます。オークはひもをひっぱったりボール遊びが大好きです。

学校から帰るとしっぽをふってお出むかえをしてくれるのがとてもうれしです。私は目の不自由な人が横断歩道で青信号がわからなくて、困っているところ

を見たことがあります。お母さんが声をかけてました。

私もお母さんみたいに勇気をもって目の不自由な人を見かけたなら声をかけてあげて助けてあげたいなと思います。パピーウオーカーをやったことがきっかけで、私はしよう来盲導犬の訓練士になりたいという夢もっています。

オークは来年1月位に協会に帰ってしまいます。協会に入ると遊んであげたりさわってあげたりできなくなり、顔を見ることもできなくなり、今からその日を想像すると家族みんなで泣いてしまいます。でもオークが盲導犬になれるように私はずっと応援したいと思っています。

今、私にできること

大磯中学校三年 榎本 みそら

十五才の私は小さい頃からサッカーを習っている。サッカーをしている時間が何よりも一番好きだ。だが五才の時、足の病気にかかってしまった。

その日からサッカー、その他の運動歩くことさえできなくなり自分から見えない景色が変わった。入所し家族と離れて生活することになった。

くずれてしまった骨が再成するまで足をつてはいけない。毎日がベッドの上か車椅子での生活となった。「こんな生活なんかしたくない、サッカーがしたい、足をつけて歩きたい。」とずっと思っていた。だが私はまたサッカーをしたい、はやく足を治したいという気持ちの方が強かった。そんな時いつもまわりについてくれる家族、親戚、友達、看護師さん福祉サポートに来てくれるスポーツ選手がいつでも頑張ろうとする私の心を支えてくれ、夢、元氣、勇気を与えてくれた。

中にはサプライズゲストとして野球選手がきてくれ私は今でも覚えている。「願いは叶えようとする気持ちがあれば叶えることができる、自分たちの夢、願いはすぐそこにあるんだ。」と教えてくれた。入所の生活もなれて体育館で車椅子バスケットを友達とやるのができるようになり楽しい事も増えてきたある日、外泊の許可がおりた。入所して2ヶ月頃だった。私はその時とても嬉しかった。

か。」と思うと近くにエレベーターがあったりした。それに調べて私たちが今、暮らしている場所はどうかだろう。まだまだ改善しなければならぬ所が沢山あると感じる。そしてあれから八年後。私の願いは叶っていた。

「外泊ができたらサッカーの試合を見に行きたい。」私の希望を母は叶えてくれた。スタジアムには車椅子専用観客席があり雨の時も屋根がついているし、ボールが飛んできても平気なようにさくがついていたり、安心して楽しく試合を見るのができた。また、試合が終わると選手は必ず私たちの応援していた席に来て今日も応援してくれてありがとうとやさしい声で、「みんな頑張れ。」と握手をしてくれた。その言葉が私の励みになり夢、元氣、勇気を与えてくれた。

山、訪れるようになっていく。どのようになつていたり、手すりがつけられたり、なるべく段差をなくしたりと変わっていった。このように少しずつであるが誰もが楽しく平等に安心して暮らしやすい環境を私が住んでいる町にもできた事がとても嬉しい。

過ぎしていった。外泊の時もう一つの楽しみが家の近くにある城山公園の散歩だった。城山公園には展望台があり景色がとても綺麗で大好きな場所だった。しかし車椅子で行くことができなかった。展望台に行くには階段をのぼらなければ行くことができなかったからだ。その時、私はとても残念だった。バリアフリーとは高齢者や私のように病気をもっている人が生活するうえで誰もが楽しく平等に安心して暮らしやすい社会環境をつくることだと私は思う。

私は心はバリアフリーの輪を広げていけたら幸せの輪も広がると思います。(敬称略)

病院には段差がほとんどないし「階段

少しずつ歩いていきたいと思います。逆に高齢者や私のように病気をもっている人も自分から、たのむことも必要だと私は思っています。そして私は大きな夢を叶えることができた。それは退所して元氣になりおもしろいサッカーをすることだ。今でも私はサッカーをしている時間が一番好きだ。私は心のバリアフリーの輪を広げていけたら幸せの輪も広がると思います。(敬称略)

まんてん こども食堂 はじめました！

こども同士でも、お父さんお母さんとでも
どなたでもご利用できる食堂です！！
よろごはん食べにきてください！

開店時間 午後5時～8時
第1・第3水曜日に開店します
(変更する場合があります)

料 金 こども 200円 大人 300円
(デザートつき)

場 所 地域センターまんてん 食堂



開催報告 災害講演会開催



11月25日(土)、大磯中学校において、大磯町災害救援ボランティア主催で、宮城県南三陸町に在住されている佐藤信一氏を招き講演会を開催しました。佐藤氏は、写真館を営んでいましたが、2011年3月11日の東日本大震災の津波で自宅及び写真館を失いました。発災直後からカメラを持ち当時の様子を「自分ができることは写真をとってありのままに写す。」という思いで写真を撮り続けました。講演では、写真(発災時の津波・避難所・住民の復興までの様子等) 300枚を紹介しながら当時の様子

を語っていただきました。佐藤氏は、「南三陸町では以前、チリ地震のときに南三陸町まで到達した津波の被害を教訓に避難訓練が毎年行われてきましたが、今回の地震では想定を超える地震であったことや自分は大丈夫だと思った人が多かったのではないかと話されていました。また、「大きな地震が起きた時は、津波が発生すると思い、とにかく早目に高台に逃げるのが重要です。」と語られておりました。

“ちいき”の活動教えてください！

～大磯町生活支援体制整備事業・生活支援コーディネーターの活動について～

大磯町社協では、町より生活支援体制整備事業※1の委託を受け、生活支援コーディネーターや、協議体※2において「安心して“助けて”といえるまちづくり」をめざして今後の大磯の支えあい体制について協議、検討、企画をすすめております。

現在、各地域に出向き、“大磯にすでにあるもの”“これからつくらなければならないもの”についてヒアリングを行っております。

皆様のちいきに伺った際は是非、“ちいき”のことを教えてください。
ご協力よろしくお願いいたします。



※1 生活支援体制整備事業……介護保険制度の改正に伴い、既存の介護保険サービスだけでなく、地域住民が主体となった生活支援サービスの充実を図れるよう、地域の互助を高め、地域全体で高齢者の生活を支える体制づくりを進めることを目的とした事業。

※2 協議体……地域で高齢者を支援する関係者間のネットワークづくりを目的とし、定期的な情報共有・連携強化の場として、大磯町では平成29年2月協議体「る～た～大磯」を設置。

皆様からの心温まる善意、
ありがとうございます。



ザ・ビッグ二宮店より
ご寄付いただいた車椅子

- 匿名 (衣類) 合計5件
- (中国料理ランチ・お菓子)
- 媽媽厨房
- 鈴木 千里 (シルバーカー)
- ザ・ビッグ二宮店 (車椅子)
- 西村 英男 (車椅子)

【寄付物品】

- 悠悠苑
- 大磯老人クラブ連合会
- 土屋 隆夫
- 久保田酒店
- 身障者介助ボランティア
- 山王町商店会
- 大磯町畜産会
- 匿名
- 合計8件

総額 84,771円

【寄付金】

(敬称略・順不同)

平成29年8月18日から平成29年12月8日までに次の方々から大磯町社協にご寄付をいただきました。福祉活動のために大切に使用させていただきます。

あ り が と う

**本格中国料理、
ごちそうさまでした！**

12月7日、媽媽厨房様より中国料理ランチのご寄付をいただきました。

これは毎年恒例になっているもので、大磯町社協が事業運営を行っております「ミニデイサービス」のご利用者様に届けていただきました。

地元有名中国料理店の味を堪能した皆様からは「美味しい！」という声と笑顔があふれていました。



媽媽厨房様からの心温まる善意と美味しいお料理、本当にありがとうございました。

大磯ケアセンターさざれ石

デイサービス介護職員の募集

資格：ヘルパー初任者研修修了者（ヘルパー2級）

内容：デイサービスでの介護業務

時間：① 8時30分から17時15分

② 8時30分から12時

③ 13時から17時15分

給料：本会規程による（ただし、3カ月間の研修期間有）

勤務：月曜から金曜の間のシフト制で週1日から3日

募集期間：随時受け付けています。

**「傾聴ボランティア
養成講座」のお知らせ**

「傾聴」とは、相手のお話を“聴く”ことです。その技術を学び、施設などでボランティア活動をしてみませんか！

と き 全4日(その他1日施設実習あり)
1月22日(月)、1月29日(月)、2月5日(月)、2月19日(月)
いずれも13:30~15:30

と ころ 福祉センターさざれ石

参加費 500円(資料代)

対 象 町在住の方。全日程受講可能な方で、講座修了後、傾聴ボランティアとして活動していただける方。

問い合わせ・申し込み

大磯町地域包括支援センター 61-9966

*** 編集後記 ***

寒さが身にしみる季節となりました。「しゃきょうおおいそ」をお手にとっていただきありがとうございます。

今年は台風が多く発生し、大磯社協のメインイベントである福祉大会も雨。悪天候ではありましたが、ご協力いただいた多くの皆様、感謝申し上げます。

本年も皆様に元氣をお届けできるような、興味ある紙面づくりをしていきたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。